

1

(1)	3 7 3 7	(2)	6 9 2	(3)	5 6	(4)	8 8 8
(5)	1 8 0 0	(6)	1 7 0	(7)	2 1 6 6	(8)	1 9 6 0
(9)	$\frac{53}{67}$	(10)	㊦ 2 (L)	(11)	㊥ 9 6 8 (mL)	(12)	1 0 1 0 (m)
(13)	1 0 5 (m)	(14)	1 7 0 (円)	(15)完答			

2

(1)	$\frac{3}{5}$	(2)	1 7 個	(3)	2 9 8
-----	---------------	-----	-------	-----	-------

3

(1)	3 0 cm	(2)	3 0 cm	(3)	4 (cm)
-----	--------	-----	--------	-----	--------

4

(1)	7 月 3 日	(2)	1 4 2 ページ	(3)	(8 月) 1 2 (日)
-----	---------	-----	-----------	-----	---------------

5

(1)	4	(2)	2 1	(3)	9 6
-----	---	-----	-----	-----	-----

(配点) 各4点×25

1

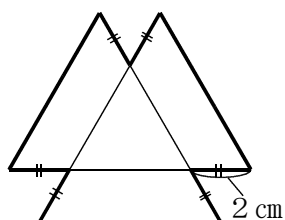
- (7) $1048 + \square - 869 = 2345$
 $\square = 2345 + 869 - 1048 = \underline{2166}$
- (8) $5237 - \square - 693 = 2584$
 $\square = 5237 - (2584 + 693) = \underline{1960}$
- (10) $6 \text{ L } 50\text{mL} - \square \text{ L } \square \text{ mL} = 3 \text{ L } 82\text{mL}$
 $\square \text{ L } \square \text{ mL} = 6050\text{mL} - 3082\text{mL}$
 $= 2968\text{mL} = \underline{2 \text{ L } 968\text{mL}}$
- (11) $3 \text{ km } 417\text{m} - \square \text{ m} + 183\text{m} = 2 \text{ km } 590\text{m}$
 $3417\text{m} - \square \text{ m} = 2590\text{m} - 183\text{m} = 2407\text{m}$
 $\square \text{ m} = 3417\text{m} - 2407\text{m} = \underline{1010\text{m}}$
- (12) マツの木が20本必要ということは、木と木の間は21個。
 よって、 $5 \times 21 = \underline{105}(\text{m})$
- (13) みかん1個の値段を①円とすると、りんご1個の値段は②+10(円)、もも1個の値段は、④+30(円)。
 みかんとりんごとももを1個ずつ買ったときの代金は、
 $\textcircled{1} + \textcircled{2} + 10 + \textcircled{4} + 30 = \textcircled{7} + 40 = 600(\text{円})$ となるので、
 $\textcircled{1} = (600 - 40) \div 7 = 80(\text{円})$
 よって、りんご1個の値段は、 $80 \times 2 + 10 = \underline{170}(\text{円})$

2

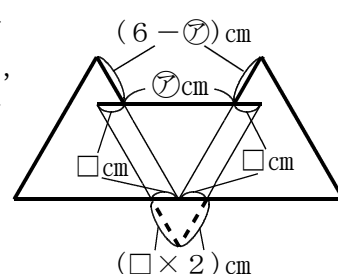
- $\frac{1}{3}, \frac{3}{5}, \frac{1}{7}, \frac{3}{3}, \frac{1}{5}, \frac{3}{7}$ の6個のくり返し。
- (1) $50 \div 6 = 8(\text{セット})$ あまり2(個) $\rightarrow \frac{1}{3}, \frac{3}{5}$
- (2) 1と同じ大きさ $\rightarrow$ 1セットに $\frac{3}{5}$ の1個。
 $100 \div 6 = 16(\text{セット})$ あまり4(個)より、
 $1 \times 16 + 1 = \underline{17}(\text{個})$
- (3) 1セット内の分子と分母のちがいは、前から順に、2, 2, 6, 0, 4, 4となるので、1セットの分子と分母の合計は、 $2 + 2 + 6 + 0 + 4 + 4 = 18$ ちがう。
 よって、分子と分母の合計のちがいは、
 $18 \times 16 + 2 + 2 + 6 + 0 = \underline{298}$

3

- (1) 6cmの辺5本分の長さ。よって、 $6 \times 5 = \underline{30}(\text{cm})$
- (2) 右の図より、6cmの辺が3本、2cmの辺が6本ある。
 $6 \times 3 + 2 \times 6 = \underline{30}(\text{cm})$



- (3) 点線の部分の長さを移すと、右の図のように6cmの辺が5本と、6cmから⑦cmを引いた残りの長さが2本分になる。よって、 $6 \times 5 + (6 - \textcircled{7}) \times 2 = 34(\text{cm})$ より、 $6 - \textcircled{7} = 2(\text{cm})$ となるので、 $\textcircled{7} = \underline{4}(\text{cm})$



4

- (1) 7月と8月はどちらも31日までであるので、合わせて62日。
 $62 \div 7 = 8(\text{週間})$ あまり6(日)なので、木曜日が他の曜日より少なく、7月1日が金曜日であると分かる。
 よって、7月最初の日曜日は金曜日の2日後の3日。
 ちなみに、8月31日は水曜日とわかる。
- (2) 1週間で $2 \times 5 + 3 \times 2 = 16(\text{ページ})$ 取り組む。
 あと1日あればちょうど9週間になるので、そこから木曜日の分を引く。 $16 \times 9 - 2 = \underline{142}(\text{ページ})$
- (3) 6日連続休んだ分のページ数は、土曜日か日曜日を1日ふくむと13ページ、2日ともふくむと14ページになる。
 ふたたび取り組み始めてからは1日1ページずつ追いついていくので休んだ最後の日は、8月31日の13日前または14日前。13日前のとき、休んだ最後の日は8月18日で木曜日となり、8月13日から休んだことになるが、土曜日と日曜日のどちらも休んだことになるのでおかしい。
 14日前のとき、休んだ最後の日は8月17日で水曜日となり、8月12日から休む。このとき土曜日と日曜日がどちらも休みにふくまれるので正しい。よって、 $\square = \underline{12}(\text{日})$

5

- (1) 1つの箱の数の合計は、 $1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6 = 21$
 Aの向きに3回転がしたとき、箱の④の面とその反対の面は上に来ない。4つの数の合計が17ということは、④の面とその反対の面の数の合計は $21 - 17 = 4$ と分かる。
 たして4になる数は1+3なので、④の面の数は1。
 同様にBの向きに3回転がしたとき、⑦の面とその反対の面は上に来ず、その合計は $21 - 13 = 8$ で1と3は使えないので2+6となり、⑦の面の数は2。よって、⑦の面とその反対の面は4と5で、 $\textcircled{7} = \underline{4}$
- (2) (1)より、下の面の数以外の情報を図にまとめると、右の図のようになる。上の面の数の合計は、
 $4 + 3 + 6 + 1 + 5 + 2 = \underline{21}$
- | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 3 | | | | | |
| 6 | 4 | 2 | | | |
| 1 | | | | | |
| 5 | 5 | 5 | | | |
| 6 | 3 | 2 | 1 | 6 | 3 |
| 4 | 4 | 4 | | | |
| | | | 3 | 3 | |
| | | | 2 | 5 | 6 |
| | | | 1 | | 1 |
- (3) 同じ箱を6個ならべるとき、見えている合計をもっとも大きくするには、くっついている面の数をできるだけ小さくすればよい。よって、1と3の面をくっつけていく。面がくっつくところは5か所あるので、両端は3が見えるようにする。また、床は残りの数のうちもっとも小さい2を置く。よって、両端は1と2が、他の4つは1と2と3が見えないので、
 $(3 + 4 + 5 + 6) \times 2 + (4 + 5 + 6) \times 4 = \underline{96}$

配点：各4点×25